



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月2日

上場会社名 株式会社エディオン 上場取引所 東名
 コード番号 2730 URL https://www.edion.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長執行役員 (氏名) 久保 允誉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務経理本部長 (氏名) 小谷野 薫 TEL 06-6202-6048
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	581,289	2.3	23,026	128.4	23,469	106.1	14,688	47.9
2020年3月期第3四半期	568,106	5.3	10,083	△30.5	11,389	△25.0	9,931	2.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 14,950百万円 (51.3%) 2020年3月期第3四半期 9,883百万円 (6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	137.18	123.39
2020年3月期第3四半期	91.30	81.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	394,980	191,585	48.5	1,788.62
2020年3月期	350,024	180,400	51.5	1,685.50

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 191,585百万円 2020年3月期 180,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	18.00	-	16.00	34.00
2021年3月期	-	20.00	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	-	-	14.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	760,000	3.6	25,000	103.5	25,000	87.0	15,000	36.6	140.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

(注) 本日 (2021年2月2日)、通期連結業績予想の上方修正を公表いたしました。上記は当該業績予想の上方修正後の予想値を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	112,005,636株	2020年3月期	112,005,636株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	4,891,828株	2020年3月期	4,974,637株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	107,072,492株	2020年3月期3Q	108,775,441株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における家電小売業界は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言解除後の段階的な経済活動レベルの引き上げや政府の各種支援策等により、一時的に経済環境が持ち直しの動きを見せておりましたが、再び感染拡大の傾向が強まるなど、先行きが不透明な厳しい環境が続いております。

こうした中で当企業グループにおきましては、従業員のマスク着用、手指の洗浄や消毒の励行、ソーシャルディスタンスの意識、商談時間の短縮、日々の検温、お客様宅退出時の清掃、そして営業時間の短縮など、営業時やお客様宅訪問時に感染症対策の実施を徹底しております。

また、外出自粛やテレワークの定着等により自宅で過ごす時間が増え、より快適な「おうち時間」を過ごしたいというお客様の要望に応えるため、大画面テレビや家庭用ゲーム機、ネット動画配信サービスを中心とした「おうちシアター」や「おうちエンタメ」、大容量冷蔵庫や調理家電による「時短・うち食」、ネット環境の整備やパーテーション・押し入れリフォームによる「自宅オフィス化」など、「新しい生活様式」に対応した豊かで充実した暮らしの提案に力を注いでおります。

店舗展開につきましては、家電直営店として「エディオンJR芦屋駅店(兵庫県)」、「エディオン豊田四郷店(愛知県)」、「エディオンファニチャードーム岡崎大樹寺店(愛知県)」、「エディオン茨木藤の里店(大阪府)」、「エディオンららぽーと愛知東郷店(愛知県)」、「エディオンイオン原店(福岡県)」、「エディオンイオンタウン岡崎美合店(愛知県)」、「エディオンイズミヤ長岡店(京都府)」の8店舗を新設オープン、「エディオンシーモール下関店(山口県)」を移転オープンいたしました。非家電直営店は1店舗を閉鎖いたしました。また、フランチャイズ店舗は2店舗の純減少となりました。これにより当第3四半期連結会計期間末の店舗数はフランチャイズ店舗749店舗を含めて1,189店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,812億89百万円(前年同四半期比102.3%)となりました。

商品別では、大画面テレビを中心とした映像家電商品が引き続き順調に推移したほか、空気清浄機や加湿器などの空調機器が好調でした。エアコンなどの季節家電商品も年末にかけて気温が下がったことから堅調に推移しました。一方、外出機会の減少や市場環境の変化によりデジタルカメラなどが、また昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動減を主因に冷蔵庫が前年を下回っています。

営業利益は広告宣伝費の圧縮や業務効率の見直しなどを進めた結果、販売費及び一般管理費を大幅に削減することができ230億26百万円(前年同四半期比228.4%)となりました。経常利益は234億69百万円(前年同四半期比206.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は146億88百万円(前年同四半期比147.9%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産に関する分析

総資産は、前連結会計年度末と比較し449億56百万円増加し、3,949億80百万円となりました。これは新型コロナウイルス感染症蔓延によるリスクに備えるために現金及び預金や商品及び製品が増加したこと等により流動資産が485億51百万円増加し、また、売却や減価償却に伴い建物及び構築物や土地が減少したこと等により固定資産が35億94百万円減少したためであります。

負債は、前連結会計年度末と比較し337億71百万円増加し、2,033億95百万円となりました。これは商品在庫確保に伴い支払手形及び買掛金が増加したこと等により流動負債が355億24百万円増加し、また、転換社債型新株予約権付社債がプットオプション行使の繰上返済により減少したこと等により固定負債が17億52百万円減少したためであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し111億84百万円増加し、1,915億85百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により38億54百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により146億88百万円増加したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比較し212億22百万円増加し、371億97百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、330億1百万円（前年同四半期に得られた資金は229億93百万円）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が221億31百万円、減価償却費が78億29百万円、たな卸資産の増加による資金の減少が193億34百万円、仕入債務の増加による資金の増加が296億20百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、58億19百万円（前年同四半期に使用した資金は130億70百万円）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が45億2百万円、有形固定資産の売却による収入が19億47百万円、無形固定資産の取得による支出が19億28百万円、差入保証金の差入による支出が12億46百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、59億59百万円（前年同四半期に使用した資金は99億69百万円）となりました。これは、長期借入れによる収入が2億90百万円、長期借入金の返済による支出が13億51百万円、転換社債の償還による支出が11億90百万円、配当金の支払額が34億54百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

当企業グループでは、新型コロナウイルス感染症による影響が第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日）まで継続し、その後緩やかに回復するとの仮定を置いて繰延税金資産の回収可能性の判断、のれん及び固定資産の減損テストの判定などの会計上の見積りを行っております。

新型コロナウイルス感染症自体の収束はいまだに見通すことはできず、2021年1月から都市部を中心とした一部地域で再び緊急事態宣言が発出されておりますが、国内の家庭用電化商品の販売を中心とした当企業グループの経営成績に限定すれば、現在の状況が継続されると仮定した上で大きなマイナスの影響は無いものと見込んでいます。

当該見積りは現時点で入手可能な情報に基づいた見積りではありますが、新型コロナウイルス感染症による経済環境への影響については不確定要素が多く、上記の仮定に変更が生じた場合には、当企業グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,974	37,197
受取手形及び売掛金	33,666	41,890
商品及び製品	91,286	110,618
その他	12,427	12,209
貸倒引当金	△58	△67
流動資産合計	153,296	201,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,868	57,722
工具、器具及び備品(純額)	7,672	7,410
土地	60,612	58,547
リース資産(純額)	1,752	1,981
建設仮勘定	292	1,272
その他(純額)	692	584
有形固定資産合計	130,891	127,518
無形固定資産		
のれん	2,986	2,640
その他	7,756	8,021
無形固定資産合計	10,743	10,662
投資その他の資産		
投資有価証券	2,320	2,448
差入保証金	26,093	26,781
繰延税金資産	22,728	22,005
その他	4,257	4,021
貸倒引当金	△306	△304
投資その他の資産合計	55,093	54,951
固定資産合計	196,727	193,132
資産合計	350,024	394,980

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,434	64,054
短期借入金	70	30
1年内返済予定の長期借入金	3,106	3,192
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	80
リース債務	237	291
未払法人税等	895	6,055
未払消費税等	1,414	3,587
賞与引当金	5,453	3,046
ポイント引当金	11,055	11,142
その他	23,098	23,809
流動負債合計	79,766	115,290
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,117	13,837
長期借入金	38,700	37,463
リース債務	2,135	2,290
繰延税金負債	623	560
再評価に係る繰延税金負債	1,597	1,591
商品保証引当金	9,285	9,822
退職給付に係る負債	8,251	8,068
資産除去債務	8,842	9,235
その他	5,304	5,234
固定負債合計	89,856	88,104
負債合計	169,623	203,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,940	11,940
資本剰余金	84,945	84,951
利益剰余金	94,978	105,790
自己株式	△4,972	△4,889
株主資本合計	186,892	197,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△235	△114
土地再評価差額金	△4,894	△4,873
退職給付に係る調整累計額	△1,360	△1,219
その他の包括利益累計額合計	△6,491	△6,208
純資産合計	180,400	191,585
負債純資産合計	350,024	394,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	568,106	581,289
売上原価	403,959	409,594
売上総利益	164,146	171,694
販売費及び一般管理費	154,063	148,668
営業利益	10,083	23,026
営業外収益		
受取利息及び配当金	79	83
助成金収入	531	455
持分法による投資利益	123	—
その他	903	728
営業外収益合計	1,638	1,267
営業外費用		
支払利息	203	186
寄付金	—	450
持分法による投資損失	—	46
その他	128	141
営業外費用合計	331	824
経常利益	11,389	23,469
特別利益		
固定資産売却益	49	5
助成金収入	—	69
違約金収入	28	21
課徴金返還額	1,236	—
その他	0	8
特別利益合計	1,315	105
特別損失		
固定資産除却損	325	404
減損損失	—	244
賃貸借契約解約損	2	61
感染症関連損失	—	584
その他	84	148
特別損失合計	413	1,443
税金等調整前四半期純利益	12,291	22,131
法人税、住民税及び事業税	2,621	6,907
法人税等調整額	△261	535
法人税等合計	2,360	7,442
四半期純利益	9,931	14,688
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,931	14,688

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	9,931	14,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	120
退職給付に係る調整額	△57	141
その他の包括利益合計	△48	261
四半期包括利益	9,883	14,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,883	14,950
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,291	22,131
減価償却費	8,336	7,829
減損損失	—	244
のれん償却額	153	346
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,719	△2,406
受取利息及び受取配当金	△79	△83
支払利息	203	186
持分法による投資損益 (△は益)	△123	46
課徴金返還額	△1,236	—
感染症関連損失	—	584
売上債権の増減額 (△は増加)	16	△8,224
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,335	△19,334
仕入債務の増減額 (△は減少)	26,809	29,620
未払金の増減額 (△は減少)	831	3,314
前受金の増減額 (△は減少)	△5,302	△4,232
その他	101	3,919
小計	27,950	33,948
利息及び配当金の受取額	42	49
利息の支払額	△171	△159
課徴金の返還による収入	1,236	—
助成金の受取額	153	639
寄付金の支払額	—	△450
感染症関連損失の支払額	—	△553
法人税等の還付額	154	1,410
法人税等の支払額	△6,373	△1,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,993	33,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,718	△4,502
有形固定資産の売却による収入	532	1,947
無形固定資産の取得による支出	△1,056	△1,928
投資有価証券の売却による収入	16	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,382	—
差入保証金の差入による支出	△1,534	△1,246
その他	73	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,070	△5,819
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40	△40
長期借入れによる収入	—	290
長期借入金の返済による支出	△1,224	△1,351
転換社債の償還による支出	—	△1,190
自己株式の取得による支出	△4,997	△0
配当金の支払額	△3,520	△3,454
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△10	—
その他	△177	△211
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,969	△5,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△46	21,222
現金及び現金同等物の期首残高	9,035	15,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,988	37,197

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は2021年1月27日開催の取締役会において、株式会社PTNの全株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。

今後、2021年2月3日付で株式譲渡契約を締結し、2021年2月8日付で全株式を取得する予定となっております。

詳細につきましては2021年1月27日付で公表いたしました「株式会社PTNの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご覧ください。